

市民派無所属

NO. 60



秋山 かほる

税金を市民に取りもどそう！

1つの入札で田中守前議長が業者(明石産業)からもらったお金は **7千万円**でした。

こんな仕組みがあるから理不尽な入札が多かったのね

市長や議員にお金がいくと、市の代金は高額に！

議員や市長に回るお金

本来の金額

逮捕時の島村前市長のことば
警察が調べていることは知っていたが、**こんなこと**で逮捕されるとは思わなかった。
上尾市では日常の「こんなこと」上尾方式仲間が多いから表に出ない。
でも世間では犯罪です。

上尾駅西口トイレ改修費用
2千万円以上。新築の家が建ちます。上尾方式

業者が約**157万円**で買った新図書館用地の物件。
上尾市は7か月後に買い取りを申し出て、付けた予算は**6000万円**。税金で私腹を肥やす人たちがいれば、この金額もありなのではないでしょうか。

島山市長！あなたが組んだ補正予算。

小学校の13校の音楽室にクーラーを入れる費用が5322万4千円。**1教室あたり約410万円**。これって上尾方式??

議会は予算のチェックが仕事。なぜ議会で誰も内容を聞かないの？

今度は小林議長の口利きで、新井元市長の私有地にあるフロック堀を公費**693万円**で改修。しかも小林議長の長男の会社に工事をさせるよう求める。役所は**入札せずに済むように7つに分けて**長男の会社に工事を発注。事態が明るみに出て、小林氏は議長を辞任。新井元市長は工事費を市に返却した。その後、言った言わないの泥仕合。これからも知っていた、知らないの泥仕合が続くそう。

特定の会社に金額を指定して分割して、工事をやらせる上尾方式。

やめろ！って言ったでしょ。

畠山市政になってからの人口変化と子育て年間予算 2017年1/1~2019年7/1

増えた世代

45歳~59歳まで 3978人増
70歳~ 5525人増
日本人245人減 外国人780人増

減った世代

0歳から14歳まで 1097人減
25歳~44歳まで 4179人減
60歳~69歳まで 3845人減



交通の便もよく、災害も少ない上尾市

せっかく来ても定年後に他市へ
住民サービスにお金を使わない市は
子育て世代もお引越し

上尾市には現在、約1600人の0歳児がいます。それを支える予算がこれです
産前産後の家事や育児のヘルパー派遣の年間予算は62万円
産後うつ防止のために、ケアや集いの場所の設置で年間予算155万円。
急な事情で子どもを一時的に預けられる「子どもショートステイ」年間予算40万円
やる気のある予算とも思えない。これで子育て世代が集まる??

県内一、出生率の高い横瀬町

妊婦から子育てまでの相談に助産師2名で週2回体制のサロン



上尾市では

2か月に1回助産師等が地域をまわる

住む市で健康も寿命も違います

県内一、平均寿命が高い所沢市 男性81.8歳、女性87.5歳

秘訣は「元気百歳体操」

自宅から徒歩圏内の集会所や学校空き教室。

手首・足首に巻く負荷バンドは無償貸与。

理学療法士を定期派遣



上尾市では 男性81.2 女性86.4

アッピーセラバンド体操は何とか実施させたが バンド代千円は個人負担。

会場光熱費は3年がかり予算をつけた。

元気百歳体操は何年も実施を迫るが未だに金のかかることはやらない!

畠山予算のポイント 公共施設マネジメント

公共施設マネジメントとは

40年後は人口が大幅に減ることを前提に、縮小・統合・廃止も含め、公共の建物を管理する計画です。2016年に決め2055年まで5年ごとに計画される公共建築物の管理計画。

予算その1

コミュニティセンターの大規模改装、図書館本館大規模改装、商工会館耐震改装の支援のための一時移転場所として北上尾 papa 内の空いている店舗場所を借りて、その**内装工事費等、3億5325万円**を出費する。(内装工事は papa 側で実施。工事のお金は上尾が出す)

移転先の面積の整合性も不明確。図書館本館工事はエレベーターとガラスフロックの撤去のみ。商工会館に至っては、1月になっての工事要望の提出など、不明瞭な点が多く、3億円以上の市の工事にもかかわらず入札もなく、金額は papa の言いなりなど、様々な点が指摘され、この予算は否決されました。

予算その2

西上尾第一団地と第二団地にある2つの保育所とつくし学園、それに駅東口ある発達支援センターを統合して、吾丁目に用地を買い新しい大きな建物を建てるそうです。公共施設マネジメントの趣旨に沿うと、面積の縮小が必要です。何しろ40年後の人口減少が前提の計画ですから。それに**18億2093万円**使うんですって。これから保育の無償化で待機児童が増えることが想定されるのに、何を考えているの??

計画その1

上平地区、図書館本館移転予定地に 建てる複合施設の計画

現在、市の候補にあがっているのは、しらこぼと保育所、上平保育所、原市資料館、社会福祉協議会の総合福祉センター、身体障害者福祉センターふれあいハウス、かしの木園、老人福祉センターことぶき荘、上平支所、上平公民館の図書室、原市資料室、文化財収蔵庫、上平防犯連絡所、少年愛護センター、青少年センターの**13施設**です。

公共施設マネジメントは**面積の縮小が前提**です。何しろ40年後の人口減少を前提にした計画なのですから。こんなことに賛成できない。これから高齢者が増えていく時代に。保育料無償化で子どもを預けて働く女性が増える時代に！何考えてるの？目当ては大規模な箱物建設？面積を縮小しなければ、国から補助金もでないでしょ！

上尾市の公共施設マネジメントは

20歳になった娘が、40年後を考えて家の中に手すりを付ける工事をするから、お金を出してちょうだい。と言っているように思う。あなたは出しますか？5年ごとの計画を考えて、今大切だと思うことにお金を使いなさい。手すりは後でも良いでしょ。と言いませんか？

今の少子高齢化は、政治が意図的に作ったものです

確かに女性の社会進出は結婚年齢の晩婚化を招いています。しかし、若者の非正規雇用の増大と、多くの人々が、人との接触を望まなくなったのは、小泉内閣の雇用改革から始まりました。「若いうちはいろいろな仕事を経験して、自分にあった仕事みつけてから、社員になるほうが良い。」そう言われ、進んで派遣に行った人もいました。しかし、安い賃金で、相手の都合でいつでも首が切れ、次の仕事につけるまで補償もないのが不安定雇用。いくら働いても職歴にもなりません。「代わりはいくらでもいる」そういう立場で言いたいことも言えず、人としての尊厳を傷つけられた人たちが家にこもるのは特別なことではありません。今政府は、家にいて働いていない人を研修に出せば1人につき20万円。半年働かせれば40万円が成功報酬として派遣会社に払う案を検討中。百人で6千万円。派遣会社でなく、本人に出せば！非正規社員は賃金も安く生活設計がたてられず、結婚しない人が多いのです。政治が変わり、社会が子どもを必要としたとき、政策も変わります。フランスは出生率を回復しています。40年後が今と同じとは限りません。

ここ2~3年を考えると、市民生活は大変になります。

だから、市民負担を減らし、生活に役立つ政策の実施を迫り、秋山かほると市民のネットワークは6月に島山市長に要望と質問を出しました。

今、話し合いを進めています。

子育て世代は働き方改革で生活が不安定になります。今大企業は40代のリストラを進めています。副業を望む人は多くても実際にする人は少なかった。でも、派遣会社は1人副業させると数十万円の補助金が政府からもらえます。副業での労働者の給料の減らし方も検討中で百年安心なんて思った年金は、65歳で2千万円が必要？介護や医療費合わせて3千万円。支給が少ない国民年金は5千万円。年金は目減りするのが今は当たり前になった。生活は切り詰める。

でもいざという時、役に立つ市政を作る必要があるのです！！

次号に続く

定例会のお知らせ

9月28日(土)1時半
コミセン2階講座室
お待ちしております

秋山かほると市民のネットワーク

上尾市平方領々家547

☎781-6414

☎090-1463-0872

✉kaoru68@tbz.t-com.ne.jp